

令和 5 年度

入学者募集要項



山形県立鶴岡工業高等学校

(全日制の課程)

全 日 制 の 課 程

設置学科及び入学定員

全 日 制 の 課 程 (修業年限 3 年)				
機 械 科	40 名	建 築 科	40 名	
電 気 電 子 科	40 名	環 境 化 学 科	40 名	
情 報 通 信 科	40 名	計	200 名	

推薦入学者選抜募集要項

1 志 願 資 格

(1) 令和 5 年 3 月に県内の中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

- ① 当該学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
- ② 当該学科に対する適性、興味及び関心を有すること。
- ③ 下記に定める本校の出願要件を満たしていること。

(2) 本校の出願要件

「キャリア形成に係る要件」と、それ以外の要件のいずれか一つに該当する者

必須	1 キャリア形成に係る要件	ものづくりに興味や関心があり、将来は工業に関する知識や技術を活かした分野で活躍することを強く望む者
いずれか一つ	2 成績評定概況に係る要件	評定合計が27以上の者
	3 特別活動等に係る要件 (右のいずれかに該当する者)	① 学校全体の生徒会活動の役員（会長、副会長、議長、副議長、委員長）として、積極的に取り組んだ者 ② 文化的活動や体育的活動において、在学中に大会に出場した者 ③ 部活動・研究活動において、部長・副部長・選抜選手として活動した者 ④ 各種コンテストや研究活動において、県大会入賞以上の実績を残した者

(3) 合格した場合は、入学が確約できる者。

2 募集する学科と人員

各学科ごとに、入学定員の30%以内とする。

3 出 願 手 続

(1) 出願に必要な書類

項 目	受 付 期 間	備 考
① 推薦入学願書	令和 5 年 1 月 19 日 (木) ～ 1 月 25 日 (水) 12 時 必着 (郵送の場合でも締切日時までに必着とする。) ※窓口持参の場合の受付時間は 9 時から 16 時 30 分までの間とする。	① ② ④ の用紙は本校で用意する。 ④ は進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合。
② 自己推薦書		
③ 調 査 書		
④ 自己申告書		

(2) 注 意 事 項

- ① 出願手続きは、在籍中学校長を経由して本校校長に提出すること。郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分（郵送料84円及び簡易書留料金320円分）を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長 3 号封筒を同封する。
- ② 推薦入学願書には、入学者選抜手数料として2,200 円の山形県収入証紙を貼り、消印はしないこと。
- ③ 志願は、1 人 1 学科とする。
- ④ 進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を提出することができる。
(進路等相談期間は、令和 5 年 1 月 17 日 (火) 17 時まで)
- ⑤ その他、不明な点は在籍中学校をとおして本校に問い合わせること。

4 面接及び作文

- (1) 日 時 …… 令和 5 年 2 月 2 日(木) 8 時 20 分までに本校集合。なお、受検場等の下見はできない。
- (2) 携 帯 品 …… 受検票、鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、鉛筆削り、昼食、内ズック、腕時計(任意。通信機能等の付いていないもの)
- (3) 面 接 …… 個人面接とし、1 人 7 分程度(作文終了後、開始予定)
- (4) 作 文 …… 400 字以上 600 字以内。40 分

5 選 抜

令和 5 年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項に則り、調査書、面接及び作文等の結果を総合して選抜する。

(1) 選 抜 規 準

選抜にあたりその規準を以下のようにする。

A = 調査書(学習の記録)、B = 調査書(学習の記録以外)、C = 面接、D = 作文とし、その A、B、C、D の各配点比率は次のとおりとする。

A 30 : B 30 : C 25 : D 15

(2) 面接の評価の観点及び評価の段階

評 価 の 観 点	評 価 の 段 階
① 質問の趣旨を理解した回答である。 ② 意欲的積極的な姿勢や態度が見られる。 ③ 本校志望の理由や動機が明確である。 ④ 将来の進路目標が明確である。	A B C D (4 段階)

(3) 作文の評価の観点及び評価の段階

評 価 の 観 点	評 価 の 段 階
① 志望の動機が明確である。 ② 高校生活に対する意欲や、努力をしようとする姿勢がみられる。 ③ 題の意図に正しく答え、表現に説得力がある。 ④ 言葉の使い方と文章の構成が適切である。	A B C D (4 段階)

6 選抜結果の通知

令和 5 年 2 月 9 日(木)必着で、中学校長あて親展扱いで「推薦入学者選抜結果通知書」及び「合格内定通知書」を送付する。

合格者の発表は、令和 5 年 3 月 17 日(金) 15 時 30 分ごろ、受検番号の Web による公開と本校での掲示によって行う。ただし、Web へのアクセス方法については、後日、受検票とともに配付する。また、合格者へ「合格通知書」を送付する。

7 志願変更の手続

推薦入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者は次の手続きが必要となる。

- (1) 本校全日制の課程に再度志願する者は、新たに提出する一般入学願書とともに、先に交付された受検票を、中学校長を経由して本校校長あて提出し、新たに受検票の交付を受ける。入学者選抜手数料の納付は要しない。
- (2) 志願は、第 3 志望まで認める。
- (3) 他の高等学校へ志願変更を希望する者は、先に交付された受検票を貼った「志望変更願」を本校校長あて提出すること。

一般入学者選抜募集要項

1 志 願 資 格

- (1) 令和5年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和5年度推薦入学者選抜又は中高一貫教育における連携型入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

2 出 願 手 続

(1) 出願に必要な書類

項 目	受 付 期 間	備 考
① 一般入学願書	令和5年2月15日(水) ～2月21日(火) 12時必着	①③の用紙は本校で用意する。 ③は進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合。
② 調 査 書	(郵送の場合でも締切日時までに必着とする。)	
③ 自己申告書	※窓口持参の場合の受付時間は、9時から16時30分までの間とする。	

(2) 注 意 事 項

- ① 出願手続きは、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出すること。郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手404円分（郵送料84円及び簡易書留料金320円分）を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封すること。
- ② 高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍高等学校長の志願承諾書を添付すること。
- ③ 公立高等学校への志願は1人1校とする。
- ④ 志願は、第3志望まで認める。
- ⑤ 入学願書には、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼り、消印はしないこと。ただし、推薦入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する場合は、入学者選抜手数料は不要。
- ⑥ 県外から本校を志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和5年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願（所定様式）1部を本県教育委員会教育長（郵送は高校教育課長あて）に提出し、その許可書を一般入学願書に添付すること。
- ⑦ 外国から本校を志願する者で、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業生については、令和5年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願（所定様式）と帰国先の住民票又は本県への転住の理由を証明する公的証明書等及び誓約書（所定様式）それぞれ1部を本県教育委員会教育長に提出し、その許可書を一般入学願書に添付すること。また、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業生以外の者については、令和4年12月末を目途に志願資格の有無を判定するための書類（卒業証明書など）を、本校へ提出すること。その後、志願資格が認められた者の手続きについては、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業生と同様とする。
- ⑧ 自己申告書は、在籍中学校長による本校校長への進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を提出することができる。（進路等相談期間は、令和5年1月31日(火) 17時まで）
- ⑨ その他、不明な点は在籍又は出身中学校をとおして本校に問い合わせること。

3 学 力 検 査

(1) 検査日及び会場

令和5年3月7日(火) 8時20分まで本校集合。なお、受検場等の下見はできない。

(2) 検査教科及び時間

時 間	教 科	時 間	教 科
8:50 ～ 9:40	国 語	12:50 ～ 13:40	理 科
10:00 ～ 10:50	数 学	14:00 ～ 14:50	外 国 語
11:10 ～ 12:00	社 会	(14:00から約10分間は) リスニングテスト	(英 語)

(3) 受検者の携帯品

受検者は、受検票、昼食、内ズック、腕時計（任意）のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り

ただし、聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

- (注) ① 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ② 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
- ③ 公式や法則等の書いてある定規、鉛筆（シャープペンシルを含む）、筆入れ等を持参してはならない。
- ④ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計、携帯電話、スマートフォン等の電子機器類を持参してはならない。
- ⑤ 下敷きは使用できない。
- ⑥ その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

4 選 抜

令和5年度山形県公立高等学校入学選抜実施要項に則り、調査書、学力検査、自己申告書等の結果を総合して選抜する。
 なお、調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査成績の比率は5:5とする。
 令和3年度以前の卒業者については、学力の総合段階によらず、学力検査の成績及び出身中学校から送付された調査書等を主な資料として、総合的に判断して選抜を行う。

5 合格発表及び新入生登校日

合格者の発表は、令和5年3月17日(金)15時30分ごろ、受験番号のWebによる公開と本校での掲示によって行う。ただし、Webへのアクセス方法については、後日、受験票とともに配付する。また、合格者へ「合格通知書」を送付する。

なお、新入生登校日は、令和5年3月27日(月)とする。詳細は、「合格通知書」と同封の「入学手続き等の案内」に記載。

6 個人情報の提供

受験者の個人情報(学力検査の教科別得点)の提供は、合格発表後郵送により行う。
 個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報(学力検査の教科別得点)の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒(簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上、親展扱いとし、返信用切手404円分〔郵送料84円及び簡易書留料金320円分〕を貼ったもの)を提出すること。

7. 追 検 査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査(以降、本検査という)の受験ができず、追検査の受験を希望する者。ただし、学力検査を一部でも受験した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受験の手続

① 追検査の受験を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア 本検査が受験できないと判明したら、速やかに在籍中学校長に連絡する。

イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

① 学力検査について

内容は上記「3 学力検査」に準ずる。

② 検査日及び会場

令和5年3月12日(日)8時20分まで本校集合。

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

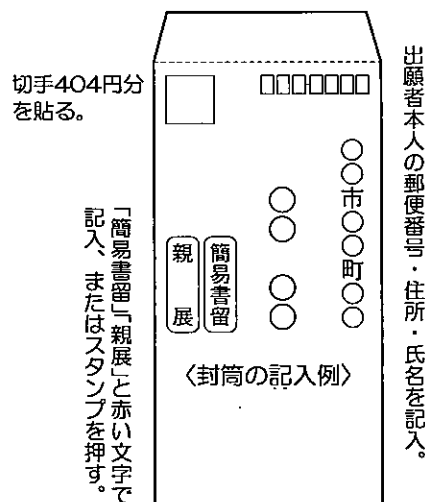
8 入学後の費用概要 (令和4年度実績)

(1) 授業料及び諸経費

項 目	年 額	備 考
授 業 料※	118,800円	月額 9,900円
学 級 費	44,100円	合計金額を5月より11月までの7ヶ月で納入します。 令和5年度は若干変更になる場合があります。
P T A ・ 協 力 会 ・ ス ポ ー ツ 後 援 会 会 費	38,280円	
生 徒 会 費 ・ 進 路 指 導 費	13,440円	
修 学 旅 行 積 立 金	70,000円	
合 計	284,620円	

(2) 入学当初の費用

項 目	費 用	備 考
教 科 書 代 制 服 (夏服含む)	約25,000円～34,000円 男子 約 62,000円 女子 約 67,000円	令和5年度は若干の変更が予想されます。 また科によって異なります。
製図用具・実習着・電卓等	約22,000円～25,000円	
体 育 着 ・ 運 動 靴	約 22,000円	
その他諸経費(分担金、負担金等)	約 15,000円	



9 学校のあらまし

- (1) 学校の沿革 大正9年、山形県立鶴岡工業学校創立、102年の歴史を誇る県下有数の工業高等学校。
卒業生 25,347 名
- (2) 校 訓 「誠実勤労」・「質実剛健」
- (3) 学 校 行 事 体育祭・学校祭・駅伝大会・修学旅行・ウインタースポーツ教室・クラスマッチ・ものづくり展示会・研究発表会
- (4) 部・クラブ活動
運 動 部……………野球・バスケットボール・バレーボール・卓球・サッカー・ソフトテニス・バドミントン・
柔道・剣道・弓道・水泳・陸上競技・ラグビー・アーチェリー・ウエイトリフティング
文 化 部……………美術・写真
ものづくり研究クラブ…メカニカル技術・サイエンスクリエーター・コンピュータサイエンス・ロボティクス
総 務 部……………応援団・吹奏楽
- (5) 進 路 状 況 令和4年3月卒業者 進学29% 就職71%（うち県内65%、県外35%）

10 各学科のねらいと内容

◆機 械 科

機械を構成する部品と材料及び機械が動く原理とメカニズム、さらには機械の設計・加工に関する基礎・基本を学習する。これを基盤に、創造的・独創的な知識・技能を身につけ、機械関連業務に従事できる能力を育成する。

また、技能検定（普通旋盤作業・機械検査作業）において、一つ以上の取得を目指す。

◆電気電子科

電気に関する基礎的・基本的な知識を踏まえ、電力技術や電子回路、電気電子機器、エネルギー利用など総合的な技術を身につけ、電気電子関連の業務に従事するための能力を育成する。また、国家資格取得に重点を置き、第二種電気工事士と第二級陸上特殊無線技士の二つの国家試験の合格を目指す。

◆情報通信科

コンピュータを構成している回路や機器のしくみ、コンピュータに仕事を任せたりモノを制御するためのプログラムの作成、情報をやりとりする通信やネットワークの基礎的な知識や技術を身につけ、コンピュータ技術者・情報通信技術者を育成する。また、情報処理技術者試験 I Tパスポートの合格や第二級陸上特殊無線技士の取得を目指す。

◆建 築 科

建設業に関する基礎的・基本的な知識を基に、建物やまちを企画・計画する力、木造や鉄筋コンクリート構造及び、構造設計や施工に関わる知識や技術などを身につけ、関連する諸分野の業務に従事するための能力を育成する。また、二級建築施工管理技術検定（一次検定）試験の合格を目指す。

◆環境化学科

持続可能な社会をつくるために、化学分野の学習を柱として、地球環境全体の仕組みや、リサイクル、環境分析、再生可能エネルギーといった生産工程に関わる知識・技術を学習し、さらにはイノベーションにつながるような多角的な環境に配慮したものづくりのできる技術者を育成する。また、乙種第4類危険物取扱者試験の合格を目指す。

11 教育課程一覧表

- (注1) 「総合的な探究の時間」は1学年で1単位、2学年で1単位履修し、3学年の「課題研究」で1単位分を代替します。
 (注2) 「情報Ⅰ」は「工業情報数理」で代替します。
 (注3) 下表のほか、各学年でホームルーム活動が1単位あります。
 (注4) ○□△◇▲は選択科目、※は学校設定科目を表しています。
 (注5) 入学後に一部変更になることがあります。

共通教科				
教科	科目	1年	2年	3年
国語	現代の国語	2		
	言語文化		2	
	論理国語			2
	国語表現			▲2
地理 歴史	地理総合	2		
	歴史総合			2
公民	公共		2	
数学	数学Ⅰ	3		
	数学Ⅱ		3	
	数学Ⅲ			△2
	数学A		□2	
	数学B			▲2
	数学C			△2
	※発展数学			△2
理科	科学と人間生活	2		
	物理基礎		2	
	化学基礎		□2	▲2
	物理			◇4
	化学			◇4
保健 体育	体育	2	2	3
	保健	1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2	}	
	美術Ⅰ	2		
	音楽Ⅱ		□2	}
	美術Ⅱ		□2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3		
	英語コミュニケーションⅡ		3	
	英語コミュニケーションⅢ			◇4
	論理・表現Ⅰ			▲2
家庭	家庭基礎		2	
情報	情報Ⅰ	(2)		

総合的な探究の時間	1	1	(1)
-----------	---	---	-----

各科共通科目計(機械)	17	17~19	7~17
各科共通科目計(電気電子)			
各科共通科目計(情報通信)			
各科共通科目計(建築)			
各科共通科目計(環境化学)			

科目	工業技術基礎	課題研究	実習	製図	製図	工業情報数理	工業管理技術	機械工作	機械設計	原動機	原動機	電子機械	生産技術	自動車工学	工業科目計
1年	3			2		2		2	2						11
2年			5	2				□2	2						9~11
3年		3(1)	3	2	◇2	△2				2	◇2	▲2	2	△2	12~22

科目	工業技術基礎	課題研究	実習	製図	工業情報数理	電気回路	電気機器	電力技術	電力技術	電子回路	電子計測制御	通信技術	プログラミング技術	※コンピュータシミュレーション技術	工業科目計
1年	3				2	6									11
2年			3		2	2				2		□2			9~11
3年		3(1)	3	2			1	3	▲2	◇2	◇2		△2	△2	12~22

科目	工業技術基礎	課題研究	実習	製図	工業情報数理	電気回路	電子技術	通信技術	プログラミング技術	ハードウェア技術	ソフトウェア技術	コンピュータ技術	※通信ネットワーク技術	※プログラミング応用技術	工業科目計
1年	3				4	4									11
2年			3				2		2	2		□2			9~11
3年		3(1)	2	△2			2	◇2	△2	▲2	2		3	◇2	12~22

科目	工業技術基礎	課題研究	実習	製図	工業情報数理	工業環境技術	建築構造	建築構造	建築計画	建築設計	建築施工	建築法規	デザイン実践	工業科目計
1年	3			2	2				2	2				11
2年			2	1			2	□2	2	2				9~11
3年		3(1)	3	2	△2			△2	◇2	2	▲2	2	◇2	12~22

科目	工業技術基礎	課題研究	実習	製図	工業情報数理	工業管理技術	工業環境技術	機械工作	機械設計	生産技術	工業化学	工業化学	化学工学	化学工学	地球環境化学	工業科目計
1年	3				2		2			2	2					11
2年			4					2		□2	3					9~11
3年		3(1)	5	2	△2				△2		◇2	2	◇2	▲2		12~22



山形県立鶴岡工業高等学校

〒997-0036 鶴岡市家中新町8番1号

電話 (0235) 22-5505 (代)

FAX (0235) 25-4209

<http://www.tsuruoka-th.ed.jp/>